

平成22年 6月 4日  
国土交通省東北地方整備局  
福島河川国道事務所

記者発表資料

## ゴミは適正に処理しましょう ～河川ゴミの実態調査の結果について～

福島河川国道事務所では、日頃から河川のゴミ対策を実施しています。市民のみなさんにおかれましては、不法投棄は絶対にしないことはもちろん、ゴミが河川に流れないよう適正な対応をお願いします。このたび、阿武隈川と荒川においてクリーンアップ作戦を行い、その際に河川ゴミの実態調査を実施しましたので、その結果についてお知らせいたします。

1. 主旨  
河川ゴミは、その場所に捨てられる不法投棄のほかに、家庭で使用していた容器や田畠等で使用していた資材等が風や降雨により河川に流れてくるものも少なくありません。不法投棄は絶対にしないことはもちろん、各家庭や事業所におきましては、河川にゴミが流れないように適正な対応をお願いするものです。さらに効果的な河川ゴミの減量化を行うため、河川ゴミの実態調査を行っています。今回、福島市民のみなさん、渡利小学校の皆さんたちとともにクリーンアップ作戦を実施し、その際のゴミの分別調査結果についてお知らせいたします。
2. 実施日等  
①実施箇所：阿武隈川（福島市渡利水辺の楽校）  
実施団体：水辺の会渡利・渡利小学校児童（参加者133名）  
実施日：5月28日（金）  
②実施箇所：荒川（福島市あづま橋～荒川第5堰堤付近）  
実施団体：ふるさとの川・荒川づくり協議会外一般市民（参加者約1,000名）  
実施日：5月29日（土）
3. 調査結果

・分別結果

阿武隈川（渡利水辺の楽校）

発生源別分類名	生活ゴミ	農地ゴミ	河川利用ゴミ	自然ゴミ	不法投棄	その他	合計
H22年度	22.8	0	0	1.5	0	0.4	24.7
H21年度	20	3	1	20	0	0	44.0

荒川

発生源別分類名	生活ゴミ	農地ゴミ	河川利用ゴミ	自然ゴミ	不法投棄	その他	合計
H22年度	54	25	2	20	110	0	211
H21年度	95	51	7	5	100	0	258

・特徴

- ①阿武隈川「渡利の水辺の楽校」付近は、生活ゴミ（菓子袋、空き缶、ペットボトル）が目立ちました。
- ②荒川は上流に不法投棄のゴミ（テレビ、タイヤ、鉄くず）が多く見られました。中流には農業用ビニール、さらに下流になるにつれて生活ゴミが多くなっています。
- ③今回のゴミを処分する際に発生するCO<sub>2</sub>は56.11Kgになります。  
これはレジ袋をもらわずに買い物袋を使用した場合の年間削減量（約58Kg）とほぼ同等です。
- ④昨年と比較してゴミの発生量は減少しています。引き続きゴミの減量化に向けてご協力をお願いいたします。

記者発表先：福島県政記者クラブ 福島市政記者室

（問い合わせ先）国土交通省 東北地方整備局  
福島河川国道事務所 河川管理課長 森 祐一（内331）  
TEL 024-546-4331（代表）  
fax 024-546-8852

## ゴミ分別調査の結果

阿武隈川(渡利水辺の学校)

単位:kg

発生源別分類名	生活ゴミ	農地ゴミ	河川利用ゴミ	自然ゴミ	不法投棄ゴミ	その他	合計
数量	22.8	0	0	1.5	0	0.4	24.7
主なゴミの種類	菓子袋等 ペットボトル 缶	20.6 0.4 1.8		流木等	1.5	鉄材	0.4

荒川

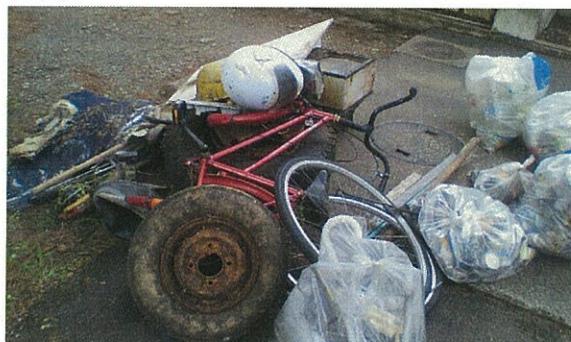
単位:kg

発生源別分類名	生活ゴミ	農地ゴミ	河川利用ゴミ	自然ゴミ	不法投棄ゴミ	その他	合計
数量	54	25	2	20	110	0	211
主なゴミの種類	缶 ビン ペットボトル プラスチック 生活ゴミ	5 4 3 2 40	ビニール 25 つりざお 花火	1 1	流木等 20 テレビ 自転車 タイヤ ホイール キャップ ヘルメット 鉄くず	5 5 30 3 5 2 60	

渡利水辺の楽校



不法投棄ゴミ



廃棄物のCO2排出量

項目	使用量 × CO2排出係数=CO2排出量				
ゴミ(可燃)	60	kg	×	0.34	20.4 kg
アルミ缶	96	個	×	0.17	16.32 kg
スチール缶	198	個	×	0.04	7.92 kg
ペットボトル	136	個	×	0.07	9.52 kg
ガラス瓶	17	個	×	0.11	1.87 kg
牛乳パック	0	個	×	0.16	0 kg
食品トレイ	10	個	×	0.008	0.08 kg
CO2排出量の合計 (二酸化炭素換算)					56.11 kg

※廃棄物リサイクル値については環境省の資料によります。

生活ゴミ

